



発行 緒川地区コミュニティ
推進協議会 ☎83-3006

編集 総務・広報部
機関紙編集委員会

発行日 2024年3月1日
第210号



登竜門



登竜門

泉書道会 浦山洗道さん

新春もちつき大会

1月14日(日)

当日は好天に恵まれ、多くの人の総力で無事大会を終えることができ感謝いたします。

もちつき体験をする子どもたちの楽しそうな表情、高齢の方の「いまだ衰えず」といわせるような力強いもちつき。

私事で恐縮ですが、50年以上も前、お盆も正月もない米国暮らしの中で、日系2世のお宅でいただいた餅はふるさとのばあちゃんのもちつきを思い出させてくれたことがあります。その時、アイデンティティというのは気の付かないうちに日常のものやことから醸成されるものかなと思いました。

ペツタン、ペチャ、ペツタン、ペチャ。もちをつく風景は今後も残していきたい伝統行事であると思います。

遠藤 太志郎



カーリング大会

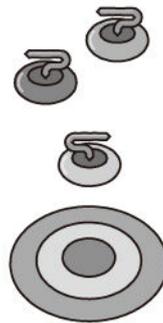
2023年12月23日(土)

緒川小学校体育館にて、子ども18チーム(親子混合含む)、大人5チーム、応援の家族と体育部員の総勢130名ほどで開催しました。カーリングは、氷上のスポーツ「カーリング」からヒントを得て誕生した全世代で楽しむことのできるインドアスポーツです。

選手の皆さんは、思い通りにならないジェットローラーに、知恵と工夫と祈りを込めて、一所懸命

にまとの中心を狙い、投げていました。結果に一喜一憂しながらゲームを楽しんでいました。カーリングは簡単で楽しいスポーツです。皆さんも次回はぜひ参加をしてみてください。

体育部部长 前田 耕次



新春カラオケ演芸大会 2024年

会場の準備が整ったホールに「いいですか」と訪れた親子と、他にも数人がいる中で、音響係とリハーサルが行われました。会場に響く「音合わせ」の楽器の音が開演を待つかのようでした。また、お揃いの衣装の出演者の皆さんも準備万端。

歌、合唱、舞踊の披露で会場は和みまじった。男気、生き様、恋心、夫婦愛を歌詞に込めた選曲の数々に感動しました。緒川小学校児童5人組の歌と踊りには、満員の会場はおおいに盛り上がりました。また、小学校校歌を、校長先生、PTA会長、卒業生の町長、そして会場の皆さんと歌う場面もありました。フィナーレはバンド演奏。皆さん、ありがとうございました。

文化部副部長 菅沼 幸治



17年間 大変お世話になりました

緒川小学校長 鬼頭 学

私はこの緒川小学校で17年間勤めました。平成7年から17年までの11年間と平成30年から令和6年3月までの6年間です。11年間は教諭として6年間は校長としてです。約2,400名のおがわっ子と関わりをもったこととなります。最初に勤めたときの教え子は保護者となり、その当時の保護者は今でも緒川小学校を支えています。なんと幸せなことでしょう。私にとって「ふるさと」のようなところです。私はこの緒川という地区が大好きでした。活気・元気があり、温かさがあり、優しさがある素敵な地区です。緒川コミュニティは、学校に対して、とても協力的で、強力なパートナーでした。私は、様々なコミュニティ行事に顔を出してきました。また、コミュニティからは「コミュニティまつり」「カローリング大会」「新春カラオケ演芸大会」など活躍の場を与えていただきました。そのため、どこに行っても温かく声をかけてくださいました。教師冥利・校長冥利でもありました。

私はこの3月末で退職します。17年間、皆様には大変お世話になりました。これからも緒川コミュニティがますます発展しますようご祈念申し上げます。

令和6年度
緒川地区コミュニティ総会

- ・とき 4月27日(土) 午前10時
 - ・ところ 緒川コミュニティセンター ホール
- ※皆さんお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

おがわっ子広場

アートマイルを 通して学んだこと

アートマイル実行委員
6年 山田 心

緒川小学校の6年生は毎年アートマイルに取り組んでいます。アートマイルとは、外国の学校と交流してSDGsについて話し合い、未来への願いを絵にまとめる活動です。今年の緒川小学校はマダガスカルマダガスカルの学校と交流しました。アートマイルの活動でできたことは三つあります。

一つ目は、世界や日本の現状について知ったことです。アートマイルでは主に貧困や平和について学びました。世界でどれだけ貧困に苦しんでいる人がいるのか、どうしたら平和になるのかなどを調べて伝え合うことができました。

二つ目は、マダガスカルとオンラインミーティングをしたことです。マダガスカルの学校と基本的には文章や写真、動画で伝え合っていました。しかし、オンラインでつないでマダガスカルの人と話をする機会がありました。顔を見て話したことによってこれまででは知らなかったことまで詳しく知ることができました。

三つ目は仲間と協力することで。話し合いをしたり、学年全体

で絵を描きあげたりすることです。一人一人が仲間と協力して、学年が一つになれました。
アートマイルを通して、日本や世界の課題について話し合ったり、解決方法を考えて自分たちがどうするべきかを伝え合ったりすることができました。また、仲間と協力して未来への願いを込めた絵を完成させることができました。これからもこの経験を生かして、世界のために私たちができることを進んでやっていきたいです。



東浦かるたの中の「緒川」トピックス

キリシタン灯籠



海量山越境寺の裏庭にある伊豆半島産の天城石の灯籠。形は上から擬宝珠、笠、胴体。胴体は高さ90cmで胴回り100cm、中央がわずかに太くエンタシス式です。上部に火袋があり十字架模様、三日月や日輪があります。

寺伝によると、気品の高い武士が「この灯籠は私が使用していたのですが、私はこの地を去りますので庭の隅にでも置いてください」と寄付しました。これを、切支丹燈籠と断定しました。

天城石を運搬して作るには費用がかかります。その武士は余程の財力と豊かな文化性を身に着けた人であったに違いないと賛美し、天正18年(1590)徳川家康の関

東入国に従った緒川城主水野貞守ではないかと推察されています。
東浦かるたとガイド 河合美三男

編集後記

元日に能登半島地震が発生しました。ちょうど信号待ちをしていた時に、家族の携帯のエリアメールが大きく鳴り響き、大きく揺れているのを感じました。テレビでは、日本海沿岸に津波が到達するという速報が流れ、「今すぐ逃げてください。」とアナウンサーが叫んでいました。その恐怖は東日本大震災を思い出し、忘れられないぐらい大きなものでした。

私たちができることは、日頃から防災について話し合うことです。自助・共助についても改めて考えましょう。これ以上、被害が大きくなりませんように。

【機関紙編集委員会】

- | | |
|-------|-------|
| 【委員長】 | 山崎 宏子 |
| 【委員】 | |
| 野村 治彦 | 山下 義之 |
| 小林 明則 | 服部 利宏 |
| 深谷 佳世 | 古川 芳恵 |
| 久米三枝子 | 小林 幸子 |
| 水野 和彦 | 久米 奈穂 |